

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 5 例(感染地域:国内 2 例、カンボジア 1 例、メキシコ 1 例、インド/バングラデシュ 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 53 例(うち有症者 31 例、HUS なし)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:東京都(7 例)、秋田県(6 例*)、岐阜県(5 例)、愛知県(5 例)*うち 4 例は動物園に関連した集団発生 年齢群:10 歳未満(20 例)、10 代(6 例)、20 代(10 例)、30 代(5 例)、40 代(2 例)、50 代(5 例)、60 代(4 例)、70 代(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2 (17 例)、O26 VT1 (12 例)、O157 VT2 (8 例)、O157 VT1(6 例)、O111 VT1・VT2(3 例)、O25 VT1(1 例)、O26 VT1・VT2(1 例)、O91 VT1(1 例)、O121 VT2(1 例)、その他/不明(3 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例(感染地域:栃木県、感染源:豚のモツ)、A 型肝炎 5 例(感染地域:山形県 1 例、新潟県 1 例、富山県 1 例、静岡県/山梨県 1 例、福岡県 1 例)、オウム病 1 例(感染源:セキセイインコ)、つづが虫病 9 例(感染地域:山形県 3 例、青森県 1 例、岩手県 1 例、宮城県 1 例、秋田県 1 例、岐阜県 1 例、島根県 1 例)、マラリア 2 例(ともに三日熱、感染地域:インド 1 例、カンボジア 1 例)、レジオネラ症 6 例(すべて肺炎型)[年齢群:50 代 2 例、60 代 2 例、70 代 1 例、80 代 1 例 感染地域:神奈川県 1 例、新潟県 1 例、山梨県 1 例、愛知県 1 例、島根県 1 例、香川県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 14 例(腸管アメーバ症 13 例、腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 9 例、インドネシア 2 例、シンガポール 1 例、インド/バングラデシュ 1 例、東南アジア 1 例 感染経路:経口 5 例、性的接触 5 例(異性間 1 例、同性間 2 例、不明 2 例)、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 2 例(ともに B 型、感染経路:性的接触(異性間)1 例、不明 1 例)、急性脳炎 1 例(病原体不明、50 代)、クリプトスポリジウム症 1 例(感染地域:国内)、クロイツフェルト・ヤコブ病 5 例(孤発性プリオン病(古典型 CJD)4 例、感染性プリオン病(医原性 CJD)1 例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例(70 代 1 例、80 代 1 例、血清群:A 群 1 例、G 群 1 例)、後天性免疫不全症候群 12 例(無症候 9 例、AIDS 3 例)[感染経路:性的接触 8 例(異性間 4 例、同性間 4 例)、注射針共用 1 例、その他 1 例、不明 2 例 感染地域:国内 9 例、タイ 1 例、カンボジア 1 例、コンゴ 1 例]、ジアルジア症 2 例(感染地域:国内 1 例、インド 1 例)、梅毒 10 例(早期顕症 I 期 3 例、早期顕症 II 期 4 例、晩期顕症 1 例、無症候 2 例)、破傷風 1 例(60 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例(遺伝子型:VanC_菌検出検体:胆汁)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(3.7)、北海道(3.5)、愛媛県(2.9)、青森県(2.5)、鳥取県(2.4)が多い。
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 121 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鹿児島県(1.8)、福井県(1.7)、香川県(1.3)、岐阜県(1.3)、福岡県(1.3)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(5.4)、富山県(4.3)、北海道(4.3)、宮崎県(3.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県(13.1)、大分県(9.9)、宮崎県(9.4)、三重県(9.4)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(3.8)、山形県(3.8)、新潟県(3.8)が多い。手足口病の定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では岐阜県(2.0)、香川県(1.5)、三重県(1.4)、愛知県(1.2)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では鳥取県(1.63)、島根県(1.52)、福島県(1.44)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では栃木県(0.11)、高知県(0.10)、徳島県(0.05)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岡山県(0.04)、石川県(0.03)、滋賀県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 10 週以降、増加が続いている。都道府県別では鳥取県(2.5)、愛媛県(2.1)、山口県(1.8)、熊本県(1.7)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岐阜県(0.06)、徳島県(0.05)、千葉県(0.04)、広島県(0.04)、鹿児島県(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 3 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鹿児島県(5.9)、長野県(4.1)、新潟県(3.7)、鳥取県(3.4)が多い。
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(2.4)、石川県(2.2)、大阪府(1.5)、群馬県(1.1)が多い。成人麻しんは千葉県から 3 例の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	2.9	.0	.7	2.4	6.1	3.1	.8	.2	1.0			2.1		1.6		3.9	.2		1.0			
近畿	香川県	1.8	.1	1.3	1.7	4.8	2.3	1.5	.7	.5		.4		1.6		.3						
	徳島県	1.0		.2	1.0	4.0	2.0	.8	.1	.5	.0	.9	.0	2.1								
高知県			.3	.6	2.8	3.8	.4	.2	.4	.1	.8		1.0		1.0				.3			
全国	.9	.0	.7	2.5	5.9	2.4	.3	.6	.7	.0	.0	.5	.0	1.7	.0	1.1	.0	.0	.4	.0	.0	.0
北海道	3.5	.0	.4	4.3	3.7	1.8	.0	.2	.6			.0		2.0	.2	.2			.1			
東北	1.5	.1	.2	2.4	5.8	2.2	.1	.9	.6			.3		1.6	.0	.8		.0	.5			
関東	.1	.0	.7	2.9	5.6	1.9	.1	.8	.8	.0	.0	.6	.0	1.4	.0	1.4	.0		.7	.0	.0	.0
甲信越北陸	.2	.0	.6	3.9	7.9	3.0	.3	.4	.5			.4		2.8	.0	.9			.4			.0
東海	.4	.0	.7	2.2	5.5	2.6	1.2	.7	.7	.0		.3	.0	1.6	.0	.6		.0	.3			
近畿	.7	.1	.8	2.0	6.2	2.5	.3	.4	.6	.0	.0	.4	.0	1.3	.0	.6			.4			.0
中国四国	1.3	.0	.6	1.8	6.0	2.3	.4	.5	.7	.0	.0	.9	.0	1.7		1.3	.0	.0	.2			
九州沖縄	1.4	.1	1.0	2.0	6.0	2.8	.2	.5	.9	.0	.0	.8	.0	2.1	.1	1.6	.0	.1	.3			.0

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(5月25日集計)

全国 全数把握感染症 第20週 (2006.5.15 ~ 5.21)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																					
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第20週報告数	全 国		5			53	1		5		1			9						2				6		14	2	1	1	5	2	12	2			10	1		1			
	四 国	愛 媛 県																																				1				
		香 川 県																							1																	
		徳 島 県					1																																			
		高 知 県																																								
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																								1																
		東 北 関 東		1			16	1		1					7					1					1	7				1	1	1	8	2			2				1	
		甲 信 越 北 陸		1			2			2															2	2															1	
		東 海 近 畿		1			13			1					1										1	2													1			
		中 国 四 国					2								1											2														3		
九 州 沖 縄			1			6			1											1						1																
週 推 移	全 国	20週		5		53	1		5		1			9						2				6		14	2	1	1	5	2	12	2			10	1			1		
		19週	3	5	2	2	30	2		5				6	1					3				4		10	1			2	4	15	2			8	1					
		18週		5	2	1	23			2				4	1									2		7	3			1		11	1			1	1			2		
		17週		7	4		22			10	1	1		4						1				5		9		3		1	3	7	1			8	1			4		
2006年累積数	全 国	15	170	35	12	318	30		165	9	8			50	15			1		16				122		252	84	83	7	69	50	413	30	7		214	24	1	28			
	四 国	愛 媛 県		2			5			3				1												1	1	1		1		2					1					
		香 川 県								1															1	2						1					4					
		徳 島 県					10																			3											2					
		高 知 県		1						1																1	1					3				10						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					3	7		8	9				1										5		7	4	2		5	4	13	1			3					
		東 北 関 東		5			28	2		6		1			20						1				2		9	6	4		3	3	16		1		15			2		
		甲 信 越 北 陸	9	77	24	10	82	8		36		4			4	7			1		10				38		107	25	30	6	25	17	226	14	4		56	8	1	10		
		東 海 近 畿	1	13	2	1	42	3		23					3	4									23		36	11	7		6	9	40	2	1		26	1		3		
		中 国 四 国		49	5		48	1		45		2			2	3									27		62	21	11	1	8	9	74	5		26	2		5			
九 州 沖 縄		1	6			50	1		28					7										11		15	7	10		11	3	16	2		33	3		2				

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.5.25集計)